

SCIENTISTS CHECK C-14 MACHINE Dr. Y. Takashima (left) and Dr. A. W. Fairhall

### Dating Laboratory | Russian Space At U To Aid Science Ship Heads To

BY E. P. CHALCRAFT

A radiocarbon dating laboratory which enables scientists to determine the age of any organic material up to 4,000 years old has just been opened at the University of Washington.

the complex dating apparatus, employing Carbon-14, which is radioactive, as a component of methane gas. The installation was designed and built at the University under direction of Dr. Arthur W. Fairhall, associate professor of chemistry, who began working on the project more than five years ago.

DR. YOSHIMASA Taka-Japan, has been added to the 400 years.

material may be calculated by tists engaged in important re-measuring the remaining ac-search—at least for the time tivity of Carbon-14, comparing being.

It is one of a dozen or so the results with Carbon-14 in in the United States. There are about 40 in the world.

Heart of the laboratory is mula.

In essence the process at the In essence the process at the new laboratory is this—the ample, is burned in a tube, leaving carbon, part of which is the Carbon-14. This is converted into methane gas. verted into methane gas (C H4) by pumping in hydro-gen. An electronic counter counts the Carbon-14 in the

pas.

Dr. Fairhall said that this method is good for materials not less than 200 years to not DR. YOSHIMASA Takamore than 4,000 years old. In
search instructor at Kyushu,
are accurate to plus or minus

laboratory staff to operate the dating machine which is located in Bagley Hall.

Carbon-14 is a radio active listope created by cosmic from a lava flow on Mount St. Helens has been dated as is found everywhere. In living if from California that is known things it exists in the same to have been cut down in 1870 amount per gram of ordinary carbon as it does in the atmosphere.

is found everywhere. In Jiving from California that is known things it exists in the same amount per gram of ordinary and left on the ground. One carbon as it does in the atmosphere.

When an animal dies, the radiocarbon continues to disintegrate by giving off emanations, but at a different rate. It diminishes at the rate of one-half every 5,570 years.

THUS THE AGE of organic review necessarily will be restricted to the needs of scienmaterial may be calculated by tists engaged in important re-

## Earth, Burns

(Continued from Page 1)

reference in the announce ment that stated that the satel lite had dipped into a "non-calculated trajectory."

The initial announcement by Tass, the Soviet press aency, shortly after 1 p.m. Moscow time Thursday of the launching of the space ship did not indicate whether there was any intention to bring it back to earth interfere. to earth intact.

IT WAS CLEAR, however that the space attempt had been planned as the next step in the Soviet program to ac complish manned space flight.

The space ship with its dummy pilot also failed to respond as directed and its capsule was never retrieved. A miscalculation caused the retrograde rockets that were designed to brake the space ship for return to earth to kick it farther and faster into an unintended orbit.

THE SPACE SHIP put into orbit Thursday carried two dogs, Pcholka and Muskhka, who were watched in flight on television screens by Soviet scientists, according to the original announcement.

The original announcement added: "The data Obtained from deciphering the telemetric measurements of physiological indices characterizing the conditions of the test ani-mals as well as radio and teleた。九州は古くから大陸との接点

九 大 の 炭 素 装 置

# 九州の年輪、次々わかる

|年前のものかを測定する炭素年代 船。がつぎつぎ明らかにされ、す 実験室にはいってから二年、これ 置が九大理学部の放射性同位元素 測定(カーボン・デーティング)装 に、遺跡や貝塚からの発掘品が何 なかった九州各地の辺跡の "年 まで正確な年代がほとんどわから でに五十五ヵ所のデータが集まっ 放射性をもった炭素を手がかり一だっただけに、わが国の汚古学、 | り、同じ時代の比較研究や、文化 るものとみられる。 交流の歴史もいっそうはっきりす タイの遺跡についても進めてお 学が韓国、台湾、フィリピン、 なると期待されている。 この放射性炭素年代測定装置は 改楽による 年代 測定は 米国の大

| 原始、古代史研究の新しい資料に | 米国のワシントン大学に留学中に を植物が炭素同化作用のさい取入 然の放射能をもった炭素(4C) 性子が密索にぶつかってできる天 九大が輸入した。 開発、米国のメーカーが製品化し れるが、切倒された後はこの放射 この方法は、宇宙線から来る中

「九大理学部の高島良生・助教授が「じて減ってゆくことを利用して何」かれる能力があるという。 |昭和三十四年から三十七年にかけ | 年前に切倒されたかを測る。 能をもった炭素が年月の経過に応 | 測定しているが、五万年前までは でわが国では一万二千七百年まで して超微質はかっている。これま 頃。九大の装置は木片を燃やして 全体で一年間にわずか五・八銛し 古い木片に含まれているのは超微 かできないといわれるぐらいで ところがこの「40」は地球上

かできる利点がある。 が容易で何度でもはかり直すこと ンにする方法をとっているのは九 鉄起湖の解明にも収組んでいる。 のはナゾとされていたわが国の製 大だけ。この方法はメタンの保存 これまで出たデータのおもなも

理研、東大だが、炭酸ガスをメタ ているのは九大のほか学習院大、 現在日本で炭素年代測定をやっ 焼山遺跡の「たたら(古代製鉄 大グループは福岡市今宿上ノ原、 はわかっていない。昨年六月、九 | 国内でいつから製鉄を始めたか 元前二百年前後といわれているが |大陸から鉄器が伝えられたのは紀 跡)」から出た木炭を千六百六十

一助教授 | 炭素年代装置を点検する九大高島 



テクネチウムは自然界には

によるもの」とおている。

亲斤

月里

テクネチウム 放射性廃棄物 ை

放射性廃棄物のうち測定が難 原子力発電所などから出る

の研究を行っている九州大理 しいとされたテクネチウム99 分析法を確立 の委託を受け、高島教授らが

六十年度から研究を進めてい 分析法はイオン交換分離

九大・高島教授グループ

行う手掛かりができた」と話 は「分析法確立で影響調査を の影響は未解明で、高島教授 テクネチウムの環境や人間へ 学部の高島良正教授のグルー 功、十五日、九大で開かれた 出することに国内で初めて成 必射化学討論会で報告した。<br /> 土壌中からテクネチウムを検 フが、分析法を確立、海中と 法、溶媒抽出分離法、沈殿分 チウムを検出。同教授らは「ソ 分析法で、博多湾の海水から く微量でも検出できる。この 最終的にペータ線を測定、ご 能法を組み合わせたもので、 たり十ピコキュリーのテクネ ュリー(ピコは一兆分の一)、 福岡市内の土壌から一点や当 連や中国の核実験などの影響 一は当たり〇・〇〇一ピコキ

かで「監視する方法を見つけ 年と、一度環境に出ると半永 燃やした時、発生する。半波 てほしい」という科学技術庁 発電所が国内で増え続けるな 久的に残るのが特徴。原子力 などと遠い、半減期が二十万 のストロンチウムやセシウム 期が約三十年の放射性廃棄物 存在せず、核実験や核燃料を

夢は今もめぐりて 小解的りしかの川 なれなたき故郷

如何下了了文母 雨に風につけても 志をはたーて 水口清き故郷 ありで友かさい いつの日にみ帰らん 思い出ずる故

(上局野辰之作詩)

- 41 -

郷 小学校唱歌



廣島陸軍幼年学校入校時(14歳)



大学2年の時 家庭教師先の高津さん玄関前にて



九大の教授室にて



昭和63年 壱岐島での海藻サプリング。 海藻中の放射能分析のため10年以上壱岐、対馬でのサンプリングをした。



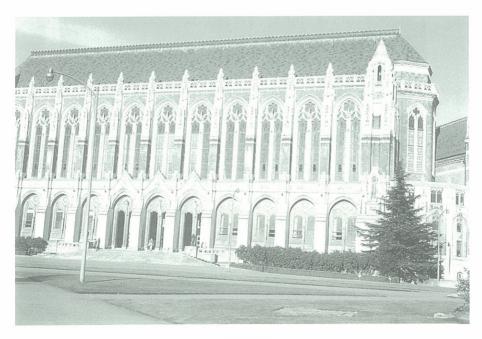
九州電力川内原子力発電所視察 原子力発電所については玄海原子力発電所ができる 数年前から九州電力の担当者から相談を受けた。 現在も放射線モニタリング技術委員をやっている。



昭和52年 バンコク(ワットアルン, 暁の寺)



シヤトルのわが家



ワシントン大学



レーニエー山国立公園 (4,200m・ワシントン州) シヤトルから車で3時間ぐらいの所にあり、しばしばドライブに出かけた。



ワシントン大学内にてケネディ大統領来学の時 職員は大学の正装で迎えた。



ニューヨークのコロンビヤ大学のチャンドラー夫妻。 二人ともすでに他界されたが、ご主人はラトガース大学 物理学部教授、夫人はコロンビヤ大学経済学部教授 アメリカで最もお世話になった方である。



昭和55年 アメリカ国立標準局にて、 後方は留学中のタイのノングヌーチさん バンコクでいつもお世話になっている人である。



ハンガリー、プタペスト郊外のハンガリ大平原プッタ地方 観光客も皆踊りの輪の中に入る



ウィーン郊外のドナウ河畔



第77回 国立10大学理学部長会議 平成4年5月28日 於 福岡リーセントホテル (事務長も含む)



平成5年 九州大学退官記念パーティ



九州大学退官記念パーティへの外国人来訪者 左端ハンガリーのベルテシ教授、右端はタイの ノングヌーチ夫妻、この他に各国より5人の友人を招待した



平成元年 糸島の前原市波多江の山側に小さなログハウスをつくった。 敷地が300坪あるのでいろいろな樹木、草花を植えている。 休みの日は家族と共にここで過ごすのが唯一の癒しである。



糸島ログハウスでのバーベキューパーティ



平成5年夏 済州島旅行



平成16年 クリスマス



平成5年 入社式の日





平成8年 職員旅行 志摩スペイン村 平成8年10月18日



(財) 九州環境管理協会 北海道の旅 2000 平成12年9月3日

